

LGBTQ 施策を評価する「PRIDE 指標」でゴールド認定を取得

住友林業株式会社（社長：光吉 敏郎 本社：東京都千代田区）は11月10日、職場のLGBTQ 施策を評価する「PRIDE 指標 2022」で最高のゴールド認定を取得しました。

PRIDE 指標はLGBTQ が誇りをもって働ける職場の実現を目指し、任意団体 work with Pride が2016年に日本で初めて策定した評価指標です。ゴールド、ブロンズ、シルバーの3段階で評価され、「PRIDE」の各文字に合わせた5つの評価指標「Policy（行動宣言）」、「Representation（当事者コミュニティ）」、「Inspiration（啓発活動）」、「Development（人事制度・プログラム）」、「Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）」全てを満たすとゴールドに認定されます。

work with Pride



住友林業グループは行動指針に「多様性を尊重し、自由闊達な企業風土をつくります」を掲げ、性的指向・ジェンダーアイデンティティを含むあらゆる人権を尊重することを「住友林業グループ倫理規範」に定めています。LGBTQ への取り組みは他者理解と個人の尊重というダイバーシティ&インクルージョンの根底をなすものと捉え、社員一人ひとりの意識醸成と制度の整備を進めています。今後も誰もが働きやすく活躍できる職場環境づくりを推進していきます。

【住友林業グループのLGBTQ への取り組み】

LGBTQ の正しい知識と理解の浸透を目的に、2021年から3年計画でLGBTQ 研修を実施しています。2021年には役員および人事部・総務部を対象に実施。2022年は各部・支店責任者、および総務責任者全員を対象に、2023年には各グループ管理者全員を対象に研修を予定しています。またeラーニング受講を全社員必須とし、個別の相談にも応じられるよう社外相談窓口を設置しています。



LGBTQ 研修の様子

人事制度では2022年1月に「パートナーシップ制度規程」を新設し、同性パートナーおよび事実婚のパートナーに配偶者（法律上の婚姻関係にある者）と同様の社内制度や福利厚生を適用しました。社内ポータルサイトに制度や取り組み、レインボープライドをはじめLGBTQ 啓発イベントへの参加情報などを掲載し、社員への情報提供を通じてAlly（LGBTQ の理解者、支援者）を増やしています。

【関連リリース】

パートナーシップ制度規程を制定～同性婚・事実婚のパートナーを配偶者と同等に～

<https://sfc.jp/information/news/2022/2022-01-26.html>

以上

「リリースに関するお問い合わせ」

住友林業株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 池尻
TEL：03-3214-2270 / Eメール：ccom@sfc.co.jp